



はじめに

このマニュアルでは、Cisco Unified CM- Session Manager Edition (CUCM-SME) での SIP メッセージのカスタマイズプロセスについて説明します。また、CUCM-SME および API で使用可能な、SIP の透過性機能および正規化機能をサポートするための Lua 環境の詳細についても説明します。

「はじめに」は、次の内容で構成されています。

- [対象読者](#)
- [マニュアルの構成](#)
- [表記法](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)
- [開発者のサポート](#)

対象読者

このマニュアルは、SIP の透過性および正規化を使用し、Cisco Unified Communications Manager 9.1(1) と統合するアプリケーションまたは製品を開発している、開発業者、ベンダー、およびお客様を対象に説明します。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章	説明
第 1 章「概要」	特定の配置環境での、セッション管理 (SM) の動作のカスタマイズに使用されるインターフェイスである、Lua 環境の概要について説明します。
第 2 章「SIP と SDP の正規化」	SIP メッセージおよびそれに関連するあらゆるセッション記述プロトコル (SDP) を扱うための Lua スクリプト作成環境 API を紹介します。
第 3 章「SIP メッセージ API」	メッセージの処理を可能にする、Lua スクリプト作成環境 SIP メッセージ API について説明します。
第 4 章「SDP API」	セッション記述プロトコル (SDP) のコンテンツ本文に関連付けられた API について説明します。

章	説明
第 5 章「SIP パススルー API」	情報を 1 つのコール レッグから別のコール レッグへと受け渡すことを可能にするパススルー オブジェクト提供 API について説明します。
第 6 章「SIP ユーティリティ API」	データ文字列の操作を可能にする API について説明します。
第 7 章「SIP URI API」	解析済み SIP URI の処理を可能にする API について説明します。
第 8 章「Trace API」	トレーシングによって、スクリプト作成者がどのようにスクリプト内からトレースを生成できるかについて説明します。これは、スクリプトのデバッグだけに使用してください。
第 9 章「スクリプト パラメータ API」	スクリプト パラメータによって、スクリプト作成者がどのようにトランク固有または回線固有の設定パラメータ値を取得できるかについて説明します。
第 10 章「SIP の透過性」	SIP の透過性に使用される Lua スクリプト作成環境 API を紹介します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
→	このポインタは、例の中の重要な行を強調しています。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

開発者のサポート

Developer Support Program は、シスコのインターフェイスを公式にサポートするもので、Cisco Service Provider のソリューションである Ecosystem および Cisco Partner プログラムの開発者、カスタマー、およびパートナーが相互にソリューションを提供できるようにします。

製品テクノロジー エンジニアリング チームの拡張である Developer Support Engineers は、専門的なサポートをタイムリーに提供するために必要になるリソースに直接アクセスできます。

このプログラムの詳細については、Developer Support Program の Web サイト (www.cisco.com/go/developer support/) を参照してください。

SIP Line Messaging Guide を使用する開発者の方は、Cisco Developer Support Program に加入することをお勧めします。この新しいプログラムでは、開発プロジェクトでシスコのインターフェイスをご利用の際に、一貫したレベルのサポートを提供します。

Cisco Technical Assistance Center (TAC) のサポートには、SIP の開発者向けサポートは含まれていません。また、サポートの範囲は、Cisco 製品のインストールと設定、ならびにシスコ製アプリケーションに限定されています。Cisco Developer Support Program の詳細については、developer-support@cisco.com までお問い合わせください。

